

項目	内容
名称	ジンコウ属 [英] [学名]Aquilaria agallocha Roxb.、Aquilaria malaccensis Lam.、Aquilaria sinensis (Lour.) Gilg、Aquilaria crassna Pierre ex Lecomte、Aquilaria filaria (Oken) Merr.、Aquilaria subintegra.など
概要	ジンコウ属は、インドやマレーシアを原産とするジンチョウゲ科の植物で、Aquilaria agallocha Roxb.、Aquilaria malaccensis Lam.、Aquilaria sinensis (Lour.) Gilg、Aquilaria crassna Pierre ex Lecomte、Aquilaria filaria (Oken) Merr.、Aquilaria subintegra.などがある。
法規・制度	■ 食薬区分 ・材、樹脂：「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・ベンジルアセトン、p-メトキシベンジルアセトン、ヒドロケイ皮酸、p-メトキシケイ皮酸、イオウ、セリナン、アガロールなどを含む (7)。 ・葉部にはマンギフェリン、ゲンクワニン配糖体類、イリフロフェノン配糖体類、メチルアピゲニン配糖体類、カテキン類などを含む (2015345463)。
分析法	・Aquilaria sinensisの葉抽出物中のポリフェノールをHPLCで分析した報告がある (PMID:22790572)。 ・Aquilaria sinensis (Lour.) Gilgの揮発成分およびエタノール抽出物中成分をGC-MSで分析した報告がある (PMID:30154355)。

有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	RCT <ul style="list-style-type: none"> 便秘傾向の健康な男女64名 (20~65歳、日本) を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化プラセボ対照試験において、<i>Aquilaria crassna</i>葉エキス600 mg/日 (マンギフェリン60.7 mg/g、ゲンクワニン配糖体2.5 mg/g含有) を就寝前または夕食から2時間程度経過した後に2週間摂取させたところ、2週間の排便量、排便回数、排便日数、便の形状に改善が認められた。一方、便の色、におい、排便後の感覚に影響は認められなかった (2015345463)。 便秘傾向の健康な男女32名 (20~65歳、日本) を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化プラセボ対照試験において、<i>Aquilaria subintegra</i>葉エキス (マンギフェリン30.0 mg/g、ゲンクワニン配糖体1.9 mg/g以上含有) 150 mg/日 (17名) もしくは300 mg/日 (15名) を4週間摂取させたところ、300 mg摂取群で排便日数、便の匂い、残便感に改善が認められた。一方、便の性状には影響なく、150 mg摂取群では全ての項目において影響は認められなかった (2017326487)。
ヒトでの評価	
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(7) 中薬大辞典 小学館 (20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン (30) 「医薬品の範囲に関する基準」 (別添2、別添3、一部改正について) (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (101) 学名でひく食薬区分リスト 薬事日報社 佐竹元吉 監修 (2015345463) 薬理と治療 . 2015;43(2):209-28. (2017326487) 薬理と治療 . 2017;45(1):113-20. (PMID:30154355) Molecules. 2018 Aug 28;23(9):2168. (PMID:22790572) J Nutr Sci Vitaminol. 2012;58(2):136-42.